

立命館大学ワンダーフォーゲル部山小屋改修工事にあたり

柴弘一様から山小屋の屋根葺き替えのお話をいただいて、まさかこの仕事を頂けるとは思いませんでした。

聞けば聞くほどその工事は遠くの物でした。

しかし、日が経ち、役員をされている方々にお会いするにつれて、山小屋に対する思いが凄く、熱いものを感じました。

初めて山小屋へ現調に行った時その思いは更に大きく感じました。

見積をさせて頂いた後、仕事内容の変更により更なる見積を提出。大きく金額 アップとなってしまいました。

工事着工も天候不順で延期を強いられました。

それでもやっと着工が出来ましたが、あの山道を足場材と屋根材とその下地材を現場に上げるのは想像を絶する思いでした。

特に屋根材の下地、いわゆる。コンパネ35枚を普通は1枚、頑強な人で2枚を持ち上げるのが限界ですが、ここに二人のスーパーマンが何と3枚持ち上げました、それも他者の1.5倍の速さで往復していました。後で振り返っても、この運び上げる事が最高の仕事になったと思います。

それに付けてもワンダーフォーゲル部OBの方々が遠くにお住まいにも関わらず現地に来られていた事に感服いたします。

やはり皆様にとって、ただの山小屋でなく、思い出、青春、安らぎ、憩いの山小屋なのでしょう。そして、数十年の時を瞬間ワープできる所なのでしょう。

本当に素晴らしい青春時代を過ごされたのですね。

私もそのような素晴らしい青春の時間を持ちたかったものと思います。

この度は山小屋改修工事完成おめでとうございました。

ありがとうございました。

株式会社シーエスコレーション

米津 雅史